

進路だより

揖斐特別支援学校

キャリア支援部 第3号

小・中学部版



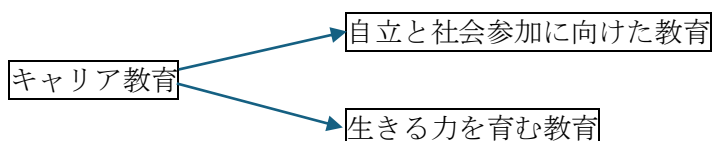
～ 未来へはばたくみなさんへ ～

令和7年度 9月発行

小学部から段階的・系統的に積み上げていく教育、即ちキャリア教育という観点から、ご興味をもっていたきたいと考え、小・中学部版進路だよりを発行させていただきます。

○キャリア教育

人は生涯の中で、様々な役割を担っています。その役割をその時々の方にとっての重要性や意味に応じて果たしていくことが大切です。児童生徒が自分らしい生き方を見つけ、自分らしい生き方ができるように支援する教育を、キャリア教育と言います。

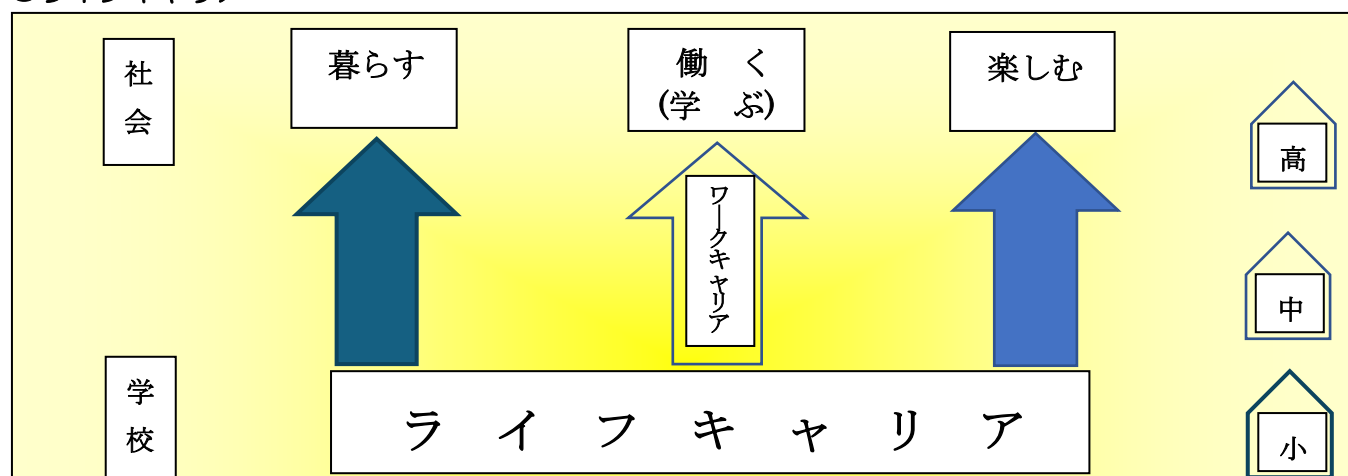


- ・高等部からの指導ではなく、小学部から段階的・系統的に積み上げていく教育
(キャリア発達は、在学中で終わるものではなく、一生涯続くものであり、積み重ねが大切)
- ・結果を出すことが目的ではなく、経過も含め経験をする中で学んでいく教育
- ・学校だけで行うことではなく、一つでも1回でも多くの体験をするために家庭や地域と連携して行う教育
- ・進路先確保で終わりでなく状況や役割、立場が変わっても生きていける力を付ける教育
- ・障がいの有無や状態に関わらず全ての児童生徒に必要な教育



上記の5点をご覧ください、いかがでしょうか？揖斐特別支援学校の児童生徒だけでなく、**自分を磨く・自分自身をアップデートする・生涯学習**という点において、大人・子ども誰もが当てはまるものではないでしょうか？

○ライフキャリア



「※みんなのライフキャリア教育」図参照

- ・「働く」ことは、「豊かで自分らしい人生」を送るための手段のひとつ
- ・働き続けるには、暮らす力や楽しむ力も必要
- ・「職業人」である前に「社会人」

※「働くこと」の捉え（学校教育において）

- ・就業体験等を中核にしつつも、教育活動全般を通して「働くこと」による充実感を得られるようにし、早期からよりよい経験を積み重ねることが大切です。学校でも「できる」環境を整え、

「**できることがうれしい**」→「**人に認められて（必要とされて）うれしい**」→「**人の役に立ってうれしい**」につながるように支援していきます。児童生徒の「働きたい」という希望や勤労観、職業観を育成することが、キャリア発達を促すことにつながります。

次回はキャリア教育の視点を踏まえて、学校で指導している内容をお知らせする予定です。“キャリア教育について、こんなこと知りたい”というようなご要望等ありましたら、担任の先生通じてで結構ですので、お伝えください。